

お取引先様 御中



## Aribaでの文書保管設定について

2022年7月1日

株式会社NTTデータ コーポレート統括本部 プロキュアメント部

# 文書保管に関する設定実施のお願い

弊社新購買システムの詳細説明会でご案内差し上げた「Aribaでの文書（注文書、オーダー確認（注文請書）等保管設定）」について、クラウドサービス事業者による仕様変更に伴い、追加設定をお願いいたします。

本設定を実施いただくことで、説明会でご案内差し上げた「Ariba上の注文書（オーダー）と注文請書（オーダー確認）は無期限に保存され」ることを実現できます。（設定いただかない場合、18か月以降はクラウドサービス事業者の事情により削除される可能性があります）

新購買システム\_サプライヤ詳細説明会（一般サプライヤ向け）（更新日：2022年5月16日）より抜粋

## 7-3. 注文書および注文請書のデータ削除条件設定方法\_1/2

- ・ **Ariba上の注文書（オーダー）と注文請書は無期限に保存されます**（制限したい場合は156か月以下）
  - ・ データ削除したい場合は以下の操作で設定することが可能です
- ※本設定はアカウント管理者または、アカウント管理者が権限を付与したユーザーのみ設定可能です



### 仕様変更箇所

- 次頁以降でご案内の追加設定を行うことで、文書保管期間を延長することができます。
- 文書保管期間の延長設定を行わない場合、当該文書体系の最終更新日から18か月を超えた時点でクラウドサービス事業者の事情により文書が削除される可能性があります。

# 設定方法 1/3

Aribaホーム画面にアクセス後、操作を実施ください ※本設定は、ANIDアカウント管理者のみ実施できます

1 アイコンをクリックし、メニューを展開

2 「設定」をクリック

3 「データ削除条件」をクリック

マイアカウント  
ユーザー ID をリンク  
管理者に連絡  
試験用ダミーサプライヤ757 - TEST  
AN ID: AN11046049500-T  
プレミアムパッケージ  
会社プロフィール  
マーケティングプロフィール  
設定 >  
元のデザインに戻す  
ログアウト

アカウント設定  
顧客取引関係  
ユーザー  
通知  
アプリケーションの登録  
アカウント登録  
Network 設定  
電子オーダールーティング  
電子請求書ルーティング  
支払いの早期化  
送金  
データ削除条件  
Network に関する通知  
監査ログ

Network 設定

電子オーダールーティング 電子請求書ルーティング 支払いの早期化 決済 データ削除条件

定期削除、または1回かぎりの削除を依頼すると、条件を満たす取引が予定日にシステムから完全に削除されます。 [詳細情報](#)

定期削除  
毎月1日に自動的に削除を実行します。  
依頼

1回かぎりの削除  
定期ではない削除を実行します。すぐに処理待ちとなります。  
依頼

アーカイブされた削除済み取引

4 「依頼」を押下すると、条件入力画面が表示されます

## 設定方法 2/3

Network 設定 保存 閉じる

電子オーダールーティング 電子請求書ルーティング 支払いの早期化 決済 データ削除条件

定期削除、または1回かぎりの削除を依頼すると、条件を満たす取引が予定日にシステムから完全に削除されます。 [詳細情報](#)

🔄 定期削除

毎月1日に自動的に削除を実行します。

依頼

**5**

定期削除の依頼

か月が経過した取引を削除します。

18か月より少ない月数を指定する場合は、[サービスリクエスト](#)を作成してください。 **Error: unbalanced tags detected. Need to close the following tags: [AWLocal]**  
**templateName: "RecurringDataDeletionCriteriaRuleCreate"**

送信 キャンセル

**6**

「送信」を押下します

保存 閉じる

上記メッセージ（下線部）が表示されることがありますが、その内容に関わらず設定に影響はありません。表示された場合は無視してください

# 設定方法 3/3

Network 設定 8 保存 閉じる

登録が完了すると、本メッセージが表示されます

✓ プロファイルが更新されました。

電子オーダーレーティング 電子請求書レーティング 支払いの早期化 決済 データ削除条件

定期削除、または1回かぎりの削除を依頼すると、条件を満たす取引が予定日にシステムから完全に削除されます。 [詳細情報](#)

🗑 定期削除

毎月1日に自動的に削除を実行します。

状況	条件	次回の削除実行日	前回の削除実行日	開始日	開始者	アクション
スケジュール設定済み	次の日付よりも古い: 144 か月	2022年7月1日		2022年6月24日	supplier_test-ariba_test_060@am.nttdata.co.jp	キャンセル

⚠ データ削除に関する通知を受け取るには、管理者にお問い合わせの上、対象の通知を設定してください。

▶ 履歴 過去に実行した内容及びキャンセルした設定条件を確認できます

🗑 1回かぎりの削除

定期ではない削除を実行します。すぐに処理待ちとなります。

依頼

アーカイブされた削除済み取引

7 「保存」を押下し、確定します

保存 閉じる



# お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは「Supplier Communication Platform（以下、SCP）」をご利用ください。  
SCPではFAQ、各種お知らせを掲載しております。

- SCPのアカウントをお持ちの方
  - MFAを用いて以下よりログインをお願いいたします。  
<https://nttdataproц.service-now.com/supplier>
  - 質問の方法については以下のマニュアル、もしくは次ページ以降の【参考】をご参照ください。  
※「SCP利用マニュアル」  
[https://nttdataproц.service-now.com/kb\\_view.do?sysparm\\_article=KB0009999](https://nttdataproц.service-now.com/kb_view.do?sysparm_article=KB0009999)
- SCPのアカウントをお持ちではない方
  - 下記メールアドレスまでご連絡ください。  
NTTデータ プロキュアメント部 最適化G E-mail : [cobuysupe@am.nttdata.co.jp](mailto:cobuysupe@am.nttdata.co.jp)
- SCPについて
  - SCPについては「Supplier Communication Platform（通称：SCP）」をご参照ください。  
<https://www.nttdata.com/global/ja/about-us/proc/supplier-communication-platform/>
  - SCPについてのお問い合わせ、SCPへの新規登録については上記サイトをご参照していただき、以下のメールアドレスまでご連絡ください。  
NTTデータ プロキュアメント部 E-mail : [partner@am.nttdata.co.jp](mailto:partner@am.nttdata.co.jp)

**※不明点がある場合、バイヤ側の現場担当者ではなく、上記への連絡をお願いいたします。**

# 【参考】SCPへのログイン/ログアウト（「SCP利用マニュアル」より抜粋）

#	操作	画面
1	<p>(ログイン) 通知されたユーザIDに基づき、MFAを用いて以下よりログインする。 https://nttdataprocservice-now.com/supplier ※ユーザー名は「NTTDSUP」で始まるものです。</p>	
2	<p>(ログアウト) 画面右上にある自分のアカウントの▼箇所を押下する。</p>	
3	<p>「ログアウト」を選択する。</p>	

# 【参考】SCPによる質問方法（「SCP利用マニュアル」より抜粋）

#	操作	画面
1	画面右上にある「要求を上げる」を押下する。	
2	「NTTデータへの質問・情報連携」を選択する。	
3	「質問する」を選択する。	
4	必要事項を選択/記入する。	
5	必要に応じて当該やり取りに含める「参照者」を設定する。	
補足	<p>「参照者」には、当該ケースに関するやり取りの内容がメールのCC（TOは質問者）で通知されます。</p> <p>質問の送信後に参照者の追加等を行うことはできませんので、ご注意ください。</p>	

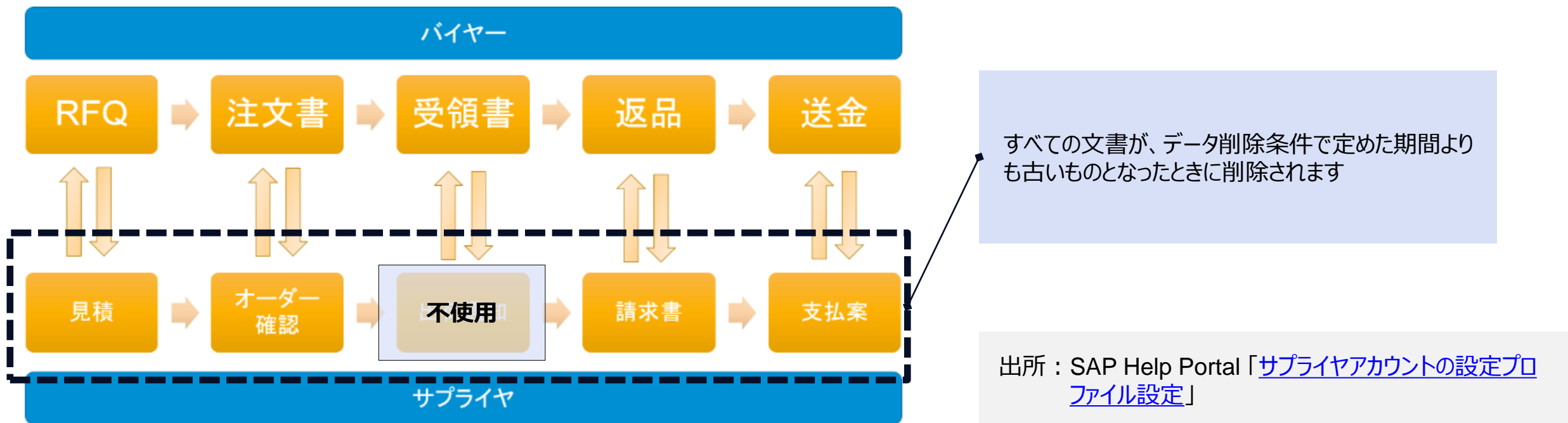
# Appendix

1. 保存対象文書の管理単位
2. Aribaにおける電子帳簿保存法対応
3. Ariba上の記載情報に関する注意点
4. 使用条件の改訂通知

## 保存対象文書の管理単位

- Aribaでは、1つの取引において取り交わされる関連ドキュメントをまとめて「取引ドキュメントセット」として管理します。なお、取引ドキュメントセットの保管期間はバイヤー、サプライヤそれぞれに設定されます。
- 18か月以上の期間、文書保管を確実にやりたい場合は、本資料で案内した手順に則り、データ削除までの期間を設定する必要があります。
- なお、ドキュメントは、取引ドキュメントセットに含まれるすべての文書（の最後に更新された日時）がデータ削除条件で定めた期間よりも古い場合に限って削除されます。

### Aribaにおける取引ドキュメントセット イメージ



出所：SAP Help Portal「[サプライヤアカウントの設定プロファイル設定](#)」

# Aribaにおける電子帳簿保存法対応

電子帳簿保存法が定める期間をよりも長い保存期間を設定したとしても、Aribaとは別に電子帳簿保存法に対応する仕組みを準備いただく必要があります。

## 電子帳簿保存法に関するSAP社見解

- 電子取引に求められる要件（真実性の確保、可視性の要件）について、Aribaが満たしているかどうかについて明言することはできない。Aribaの機能を確認いただいたうえで、各使用者にて法令要件を満たしているかどうかを判断いただく必要がある
- 電子帳簿保存法に対応するためには、Ariba外で法令要件を満たした仕組みを準備することを推奨している

## 外部サーバに情報を保管するための方法

### 1. 注文書

- 受注通知メールの設定にて、当該メールに注文書のcXMLデータやPDFを添付するように設定し、メールにて電子データを取得。その後、手動ないしは自社開発したシステム（ツール）にてサーバ等に保存
- 各注文書画面よりPDFをダウンロードし、サーバ等に保存

### 2. 見積書（コラボレーション）

- コラボレーション画面において、「印刷」をクリックしPDFファイルを作成、サーバ等に保存

### 3. 請求書

- 請求書画面よりPDFをダウンロードし、サーバ等に保存
- 請求書に対してのみAribaが提供している「長期アーカイブ機能」および「タイムスタンプ機能」※を利用。

※ 「長期アーカイブ」により11年1ヶ月間、請求書を保管可能です。タイムスタンプは文書改ざんがされていないことを証明する機能です。

# Ariba上の記載情報に関する注意点

本資料ご案内時点で、本機能に関する誤った記載がAribaコンテンツ内にあることが判明しています。現在、SAP社にて修正作業を進めておりますので、修正が完了するまでの間、ご注意ください。

## 機能の不正確な説明事例

※同内容はほかのAriba内コンテンツにも記載されており順次修正予定です

### サプライヤのデータ削除条件

#### On this page

[削除可能な取引ドキュメントの種類](#)

[取引ドキュメントを削除するためのワークフロー](#)

[取引ドキュメントセットについて](#)

[データ削除の制限](#)

[データ削除の通知](#)

[関連情報](#)

[Network 設定] ページで、Ariba Network アカウントの管理者および適切な権限を持つその他のユーザーは、取引ドキュメントの保存期間を指定することができます。

国/地域の規制上のニーズや組織のビジネス要件を満たすために、古い取引ドキュメントの削除が必要となる場合があります。

データ削除を申請した場合は、保存期間よりも古い取引ドキュメントセットが毎月の削除の対象となります。各ドキュメントセットには、取引ドキュメントと関連付けられた添付ファイルが含まれます。**データ削除を申請しない場合、ドキュメントは削除されません。**

取引データの1回かぎりの削除を申請することもできます。この操作は似ていますが、毎月ではなく1回だけ実行されます。たとえば、2018年1月1日より古い取引データを削除することができます。

記載内容が不正確な箇所

KB0405431 - 保存期間後にデータが削除されることを選択した場合、Ariba Network から削除される情報の種類、および保持される種類を教えてください。

[よくある質問](#) [該当項目](#) [属性](#) [言語 \(25\)](#) [ご意見](#)

#### 質問

会社では、特定の保存期間の後で Ariba Network のデータが削除されることが選択されています。

この期間後に Ariba Network から削除されるデータの種類、および保持されるデータの種類を教えてください。

#### 回答

この機能は、注文書、出荷通知、請求書、支払申請などの取引データおよび関連する添付ファイルのみに影響します。

その他の種類のデータ (会社データやユーザーデータなど) は影響を受けません。

さらに、以下の取引ドキュメントも削除されません。

- EDI ドキュメント
- 法的ドキュメント (たとえば、ブラジルの NFe や CTe 電子請求書など、特定の国のタックスインボイス添付ファイル)。
- スポット見積りドキュメント
- サービス証明ドキュメント

#### 追加情報

会社でこの機能が選択される場合のみ、取引データが削除されることに注意してください。データ削除に対する選択を行わない場合は、ドキュメントは削除されません。選択し、ドキュメントが削除対象として識別されると、データ削除の選択を後から解除しても、ドキュメントは削除されません。

詳細については、SAP Ariba 2102 の新機能 (Q1 2021) の[この機能のページ](#)を参照してください。

# 使用条件の改訂通知

使用条件の改訂が行われる場合、ANIDアカウント管理者宛にメールで通知されます。  
文書保管期間やデータ削除設定に関する言及があった際は、ご確認ください。

お客様各位

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。SAP Ariba 2205リリースの詳細について、以下のとおりお知らせいたします。本リリースは、米国太平洋夏時間の 2022 年 5 月 20 日 (金曜) 午後 5 時 (日本時間の 2022 年 5 月 21 日午前 9 時) に予定されています。SAP Ariba [Supplier Readiness Portal](#) にアクセスしていただき、このリリースに関連するすべての情報をぜひご確認ください。以下のような情報および資料が掲載されています。

- 機能名および説明
- ナレッジトランスファーの資料
- プレビューバージョンのリリースガイド

## 更新: SAP Business Network サプライヤポータル: [元のデザインに戻す] オプションの提供を 2022 年 8 月 19 日で終了

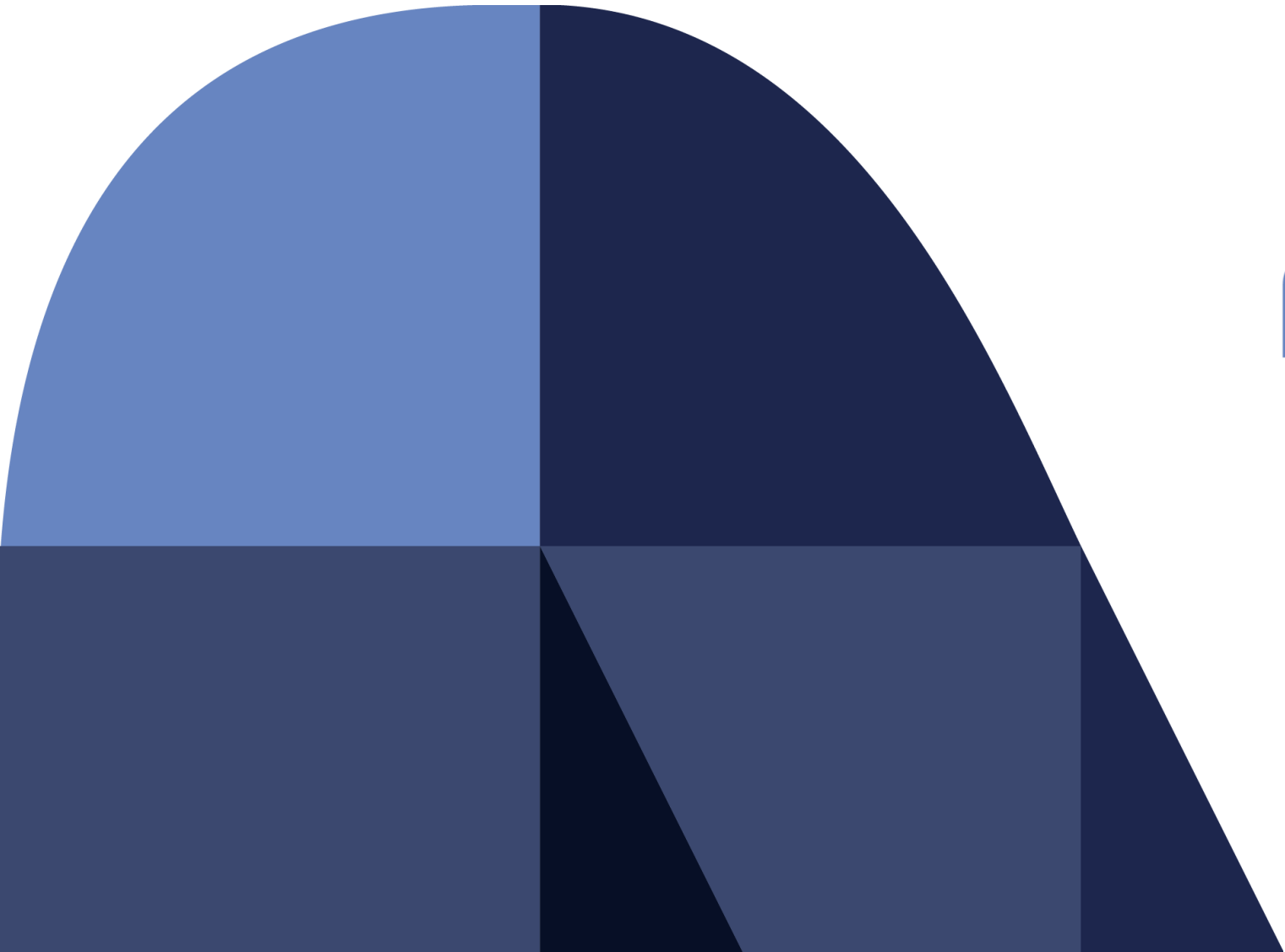
2202リリースに関する事前通知で、5月20日をもって SAP Business Network サプライヤポータルから [元のデザインに戻す] オプションが削除されることをご案内しました。この度、サプライヤ各社様からのフィードバックを受けて、この日程を延期いたします。[元のデザインに戻す] オプションは、2208リリース (8月) で削除される予定となりました。[元のデザインに戻す] オプションは、変更にご対応いただくために、ユーザーの皆様が従来のサプライヤポータルに切り替えることができるよう、一時的な措置として提供しているものであることをご了承ください。

## 「Ariba Network 使用条件 (サプライヤ様向け)」の更新

現在、SAP Ariba では、「Ariba Network 使用条件 (サプライヤ様向け)」にサプライヤ見積管理向け SAP S/4HANA に関連する条件を含めるための更新を行っております。サプライヤ見積管理向け SAP S/4HANA に関する記述は、Ariba Network 使用条件 (サプライヤ様向け) のセクション I(ii) の Ariba Sourcing に関する既存の条件に追加されます。この変更により使用条件に再度同意いただく必要はありません。

改訂された Ariba Network 使用条件 (サプライヤ様向け) のプレビューは、[こちら](#)からご確認ください。更新された Ariba Network 使用条件 (サプライヤ様向け) は、2022 年 5 月 20 日に公表される予定です。

メール本文に変更点概要が記載されますので、確認の上、貴社内での業務への影響等、検討ください (変更点に関する対比表等の提供はありません。本文記載の変更箇所のセクション情報をもとに変更箇所を確認ください)



**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator